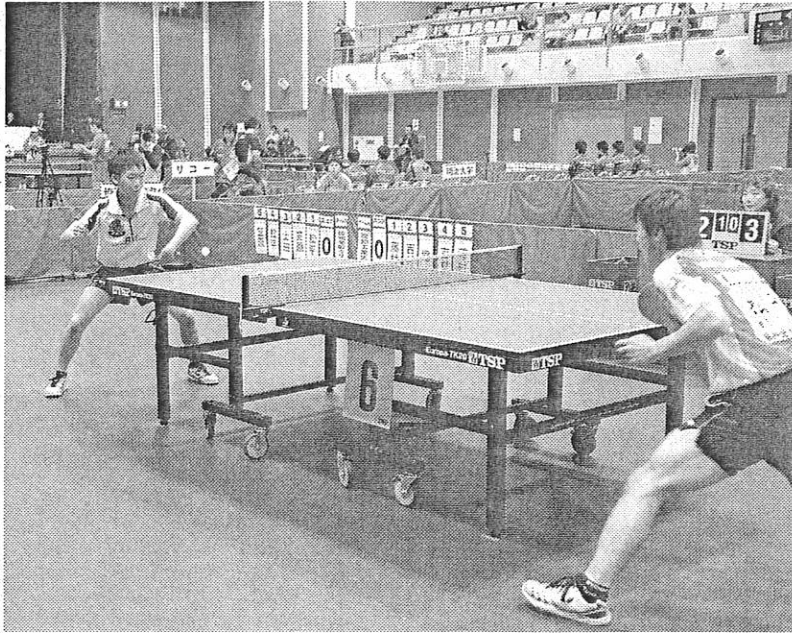


# 150人が出場し熱戦

## 白浜卓球の国体リハ大会

来年秋に開かれる紀の国わかやま国体のリハースル大会となる2014年度全日本卓球選手権大会(団体の部)が1〜3日、白浜町の町立総合体育館と白浜会館であった。高校、大学、実業団など計24チーム、約150人が出場。国体本番を想定し、会場では地元の高校生や一般のボランティア、町職員らが大会運営を支援した。

日本卓球協会、町、町教育一町実行委員会が主催した。49委員会、紀の国わかやま国体一回目の大会。本年度に開かれ



全日本卓球選手権大会で熱戦を繰り広げる選手(白浜町)

た全国大会で上位に入ったチームを中心に、県選抜チームやジュニアナショナルチームを加えた男女各12チームが出場した。

予選リーグは男女ともに3チームずつ4ブロックに分かれ、各ブロックの上位2チーム、計8チームが決勝トーナメントに進んだ。男子の決勝は東京アース(東京都)が愛知工業大学(愛知県)に3-0で勝ち、7年連続12回目の優勝。女子の決勝は日本生命(大阪府)が中国電力(広島県)に3-0で勝って2年連

続14回目の優勝を決めた。県卓球協会の競技役員約100人が審判や運営をしたほか、競技補助員として南部、田辺、田辺工業、神島、熊野の各高校卓球部員65人、地域のボランティア26人が運営を支援した。町職員は1日50人ほど動員された。

白浜会館の駐車場では、おもてなしコーナーとして「きなこパン」「温泉湯豆腐」「きいちゃん梅サイダー」が数量限定で振る舞われたほか、無料ドリンクコーナーや国体キャラクター「きいちゃん」のグッズ販売、スポーツメーカーによる売店が出て、にぎわった。

紀の国わかやま国体の卓球競技は2015年9月26〜30日、町立総合体育館と白浜会館であり、成年男子と成年女子、少年男子と少年女子の各部門に計約450人が出場する。